

鹿児島研修 | KIZUKI 110分版

令和8年熊本地震のリアルから、学校の防災教育提案へ

開催日：2026年10月30日 | NPO法人 高齢者住まいる研究会 寺西 貞昭

リアル

熊本地震10分

体験

KIZUKI演習60分

教育化

学校防災教育へ

110分の全体像

リアル → 体験 → 教育化



0～10分 | 導入

今日の問い：介護福祉士教育で、防災をどう扱うか



10～20分 | 令和8年熊本地震のリアル

職員も被災者／現場の判断



20～80分 | KIZUKI演習

災害想定ゲーム「KIZUKI」 開発 NPO法人 高齢者住まいる研究会



80～95分 | 振り返り

迷った場面・優先したこと・足りなかった情報



95～110分 | 学校防災教育への提案

授業・演習・実習指導へ位置づける

今日の到達点

「BCPを知っている」から「BCPを使える人を育てる」へ



気づく

災害時に何が起きるかを具体的に捉える



考える

人・物・情報が足りない中で優先順位を考える



判断する

正解ではなく、判断の根拠を言葉にする



教育へ変換する

KIZUKIの体験を授業・演習・実習指導へつなげる

令和8年熊本地震のリアル

10分 | 体験談を「教育の問い」に変える

熊本地震から見たこと

災害時、施設だけでなく職員も被災する



施設は大丈夫ですか？

多くの場合、まず建物・利用者・業務継続が問われる



被災職員さんは？

この問いで初めて、職員の家族・自宅・疲労が見えてくる



BCPの盲点

利用者支援と職員支援を切り離して考えない

支援は、届いて初めて支援になる

ラストワンマイルの視点



物資がある

でも、必要な施設まで届かなければ現場は動けない



情報がある

でも、誰が必要としているか分からなければ届かない



人がいる

でも、つなぐ人・調整する人がいなければ力にならない



教育で伝えること

災害時は、つなぐ・調整する・確認する力が必要

KIZUKIへ入る問い

この状況で、あなたなら何を優先しますか？

- **想定どおりには進まない**
停電・人員不足・家族対応・地域支援が同時に起きる
- **正解は一つではない**
状況が変われば判断も変わる
- **だから体験する**
KIZUKIで、迷いながら判断する経験をする

別スライドで演習を実施

この資料では、演習前の導入と、演習後の振り返り・学校教育への接続を扱います。

演習後は「判断の根拠」と「教育へ持ち帰ること」を整理します。

演習後の振り返り

判断の根拠を言語化する

- ・ 最も判断に迷った場面は？
- ・ そのとき、何を優先しましたか？
- ・ なぜ、それを優先しましたか？
- ・ 判断するために足りなかった情報は？
- ・ BCPがあれば判断できたこと／BCPがあっても判断できなかったことは？

KIZUKIで見えた学び

災害時には、状況が変われば判断も変わる



正解探しではない

大切なのは、判断の根拠を共有すること



職員も被災者

利用者・職員・家族・地域を同時に考える



BCPは文書ではなく道具

再開条件や連携条件を判断するために使う

学校の防災教育への提案

15分 | KIZUKIを授業・演習・実習指導へつなげる

学校防災教育モデル

知る → 体験する → 振り返る → 行動に変える



知る

地震・水害・BCP・災害時の介護福祉士の役割を学ぶ



体験する

KIZUKIで、情報不足・人員不足・正解のない判断を体験する



振り返る

何を選んだかではなく、なぜそう判断したかを言葉にする



行動に変える

実習先・就職先で、BCPや災害時の役割を確認する

教育課程への入れ方

1回のイベントではなく、学びを積み上げる



1年次

災害を知る。利用者理解と防災の基礎を学ぶ



2年次

KIZUKIで判断する。グループ演習でBCPを使う



実習前

実習先の避難経路・BCP・災害時の役割を見る視点を持つ



実習後

学校での想定と現場の違いを振り返る



卒業前

自分が災害時に何を担えるかを確認する

授業で使うなら

90分授業・演習・実習指導に展開できる



90分授業

導入10分＋KIZUKI45分＋振り返り25分＋まとめ10分



演習科目

役割分担・記録・報告・判断理由の発表まで行う



実習指導

実習先で見る項目：避難経路、BCP、連絡体制、職員支援



卒業前演習

災害時の介護福祉士としての役割を確認する

学生に残したい問い

防災を「自分ごと」にする

- ・ 災害時、私は利用者に何ができるか？
- ・ 自分自身が被災したとき、どう支え合うか？
- ・ BCPはどこにあり、誰が、どう使うのか？
- ・ 実習先では、避難・連絡・薬・家族対応はどう決まっているか？
- ・ 地域と施設は、災害時にどうつながるのか？

提案 | 学校に導入するKIZUKI型防災教育

研修・演習・実習指導をつなぐ



目的

災害時に、状況を見て判断できる介護福祉士を育てる



方法

熊本地震のリアル＋KIZUKI演習＋振り返り



成果物

学生の判断理由、気づき、実習先で確認する問い



継続

年度ごとに事例を更新し、学校の防災教育として蓄積する

最後に参加者へ残す3つ

教育へ持ち帰るメッセージ



1

災害時は「正解」より、判断の根拠を共有する



2

職員も被災者。利用者・職員・地域を同時に考える



3

KIZUKIの体験を、介護福祉士教育の「判断する学び」へつなげる

令和8年
熊本地震
の経験から
導き出した

自治体・行政・各種団体とともに進める 福祉防災の支援メニュー

ともに備え
ともに育てる
安心できる
地域の未来へ

実際の災害経験から得た教訓をもとに、
現場で使える実践的なメニューをご提供します

講演・研修・BCP訓練・ゲーム演習・動画教材・伴走支援まで、課題に応じてオーダーメイドでご提供します

1 講演・啓発



福祉防災で
みんなでつくる
安心のまち

- 福祉防災の基礎から実践まで分かりやすく解説
- 行政・地域・施設向けの各種講演
- 令和8年熊本地震の事例から学ぶ
- 住民・職員とともに考える啓発プログラム

2 研修・人材育成



気づき
行動
次の学びへ

- 管理者・職員向け研修
- 自治体職員・関係機関向け研修
- 事例演習・グループワークで実践力を高める
- 階層別・テーマ別のプログラム

3 BCP研修・訓練



- ・平常時の備え
- ・発災時の対応
- ・事業継続
- ・みんなで確認

- 福祉施設・事業所のBCP策定支援
- 図上訓練・実動訓練の企画・運営
- BCPの見直し・検証・改善支援
- 行政・関係機関との連携訓練

4 災害想定ゲームKIZUKI演習



- カード・シートを使った対話型演習
- 住民・職員・関係機関の多様な立場で災害時の対応をシミュレーション
- 気づきを行動につなげる実践的な学び
- 地域の特性に応じたカスタマイズが可能

5 オーダーメイド研修・訓練動画作成



- 地域・組織の課題に応じた研修設計
- 実際の現場に即した訓練動画の企画・撮影・編集
- 管理者・職員教育や住民啓発に活用できるオリジナル教材
- 継続的な学びを支えるコンテンツ制作

6 伴走支援・コンサルティング



- ・現状把握
- ・課題整理
- ・計画づくり
- ・実行・改善

- 現状把握・課題分析から計画づくりまで継続的に支援
- 研修・訓練後の見直し・定着支援
- 自治体・地域・多機関連携の調整
- 中長期的な福祉防災の仕組みづくり

こんなご相談に対応できます

- ☒ 地域の福祉防災を強化したい
- ☒ 福祉施設のBCPを実効性あるものにしたい
- ☒ 研修を単発で終わらず、定着につなげたい
- ☒ 自治体と福祉の連携を深めたい
- ☒ 令和8年熊本地震の経験を学びに変えたい
- ☒ 住民・職員・関係機関と一緒に考える場をつくりたい

主な対象

- 自治体・行政
(市町村・都道府県)
- 社会福祉協議会
- 福祉施設・介護事業所
- 医療・介護・福祉関係団体
- 地域団体・自主防災組織
- NPO・企業・学校 など

ご相談から実施まで

- お問い合わせ ご相談・ご要望をお聞かせください
- ヒアリング 課題・目的・対象に応じてご提案します
- ご提案 最適なプラン・内容・スケジュールをご提示
- 実施 研修・訓練・講演などをご実施します
- 振り返り・フォロー 成果を共有し、次のステップにつなげます



NPO法人
高齢者住まいる研究会

E-mail kousumaken@gmail.com
Web 検索は「福祉防災.com」

地域や組織の課題に合わせて、内容をオーダーメイドでご提案します



3本柱で、気づきを次の学びへ

気づきを、行動へ。行動を、証拠へ。証拠を、次の学びへ。

KIZUKIは、研修を「改善の入口」にし、福祉防災を継続的な学びと改善へつなげます。

① 福祉防災 リーダー養成講座



人を育てる

② オーダーメイド 研修・訓練動画作成



学びを届ける

③ ゲーム+AIレコーディング BCP研修・訓練→見直し・検証



現場で試し、見直す



EVIDENCE
証拠

研修・訓練の記録
気づき・成果を残す



HUMAN REVIEW
人のふりかえり

現場の視点で
対話し、見直す



KNOWLEDGE
次の学び

気づきを整理し
知見として蓄積する



NEXT QUESTION
次の問い

新たな課題を見つけ
次の取り組みへ

人を育てる。学びを届ける。現場で気づき、試し、見直す。



NPO法人
高齢者住まいる研究会

E-mail kousumaken@gmail.com

Web 検索は「福祉防災.com」

お問い合わせフォーム



こちらからお問い合わせください